

こんにちは 松坂みち子 です

日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< No.292 2016.10.12 連絡先 402-1622 >



沖縄支援平和ツアー

去年に続いて2回目の支援ツアーでした。

東村高江のヘリパッド建設が強行されている現地では、品川・福岡・北九州などのナンバーの機動隊の大きな車両が道をふさぎ、道路は片側通行しかできません。車両の間には、サングラス姿の警備会社の若者が両手を腰に仁王立ち。物々しいかぎりです。現地で聞いた生物の先生の話に「座っていると機動隊員が膝で押してくる」とあり、無抵抗の市民に対し容赦のないやり方に、強い憤りを感じました。



南風原にある病院として利用した壕にも行きました。幅2メートルもない壕の半分を二段ベッドにしてけが人などはそこに寝ています。薄暗い中で、麻酔なしに行われる手術、痛みを耐える声、薬や排泄物などの混ざった匂い、想像することすら恐ろしい状況の中で、働いていた女学生たち。沖縄でなかったら、戦争でなかったら、楽しい学生生活と明るい未来があったらと思うと、心が痛みま

す。

同じ日本の国民でありながら、沖縄県民を守らない為政者たち。かつて沖縄戦で住民が入っていた壕を日本兵によって追い出された当時とどこが違うのでしょうか。沖縄の戦争は、終わっていません。そしてそれは、再び戦争へ向かおうとしています。

自分に何ができるのか、何をしなくてはいけないのか——考え、行動することが大事であり、日々の忙しさの中に埋没させてはいけない、過去を繰り返させてはいけない、決意を新たにしました。

みち子のひとりごと 台風

10月1日(土)朝、3日(月)に帰る予定で沖縄へ行きました。が、台風18号が予報通り沖縄にやってきたため飛行機が飛ばず、帰ってきたのは5日(水)の夜でした。この二日間は毎週水曜日に準備しているため間に合わず、先週はお休みとなっていました。

「ホテルに缶詰めで大変だったでしょう?」と聞かれます。私もそうなるだろうと覚悟はしていましたが、台風は夜の間に通り過ぎ、4日5日は時折雨は降るものの出歩くのに不都合はなく、飛行機が飛ばずまでの時間を有効に使おうと、予定になかったひめゆりの塔や魂魄の塔、喜屋武岬にも足を延ばしました。首里城や座喜味城跡にも行くことができました。

しかしいいことばかりではありません。関空に着陸するときは台風の風で機体の揺れは激しく、思わず声が出て、手や足に力が入ります。CAさんに聞くと「めったにない」揺れ方だったとか。

いろいろな初体験の多かった沖縄の旅でした。



9月議会 16件中、3件の議案に反対

反対討論は姫田議員が行いました。以下その内容を報告します。

議案第1号は一般会計補正予算です。マイナンバーに関わって、自治体間で情報連携の構築として1143万1千円の計上。マイナンバー制度は情報流出の恐れが払拭できません。都市計画道路整備事業は県施行の西脇山口線の事業費の増に伴う市の負担増1億8455万円の計上。地元の自治会から知事や県議会に、迂回や事業凍結の要望が出て話し合いをしており、十分な合意形成を図るべきです。債務負担行為補正のうち2017年から2019年まで小学校給食民間委託事業等に6億9032万4千円の計上。給食は、効率を求めて公的責任を放棄するようなやり方でなく、教育の一環としてどう保障するのかを教育委員会自身が考えるべきです。

議案第9号学校給食共同調理場条例の一部改正は、補正予算と同様の理由です。

議案第16号和歌山市立伏虎中学校の跡地の貸し付けに係る和歌山市財務に関する条例の特別措置に関する条例は、①市民会館の基本計画ができていない状況で、県立医大に跡地を貸すと決められない②条例が2019（H31）年3月31日で失効すること③条例の文面では県立医大に貸すことになっていないこと。

以上の理由で、3件の議案に反対しました。



「あたらしい憲法のはなし」⑧

みなさんは、日本国民のひとりです。主権を持っていて日本国民のひとりです。しかし、主権は日本国民ぜんたいにあるのです。ひとりひとりが、列々に持っているのではなく、ひとりで、ひとりひとりが、みな自分が一番えらいと思つて、勝手にすることはありません。それは民主主義にあわしてあります。それは民主主義にあわさないことになりません。みなさんは、主権を持っていて日本国民のひとりであるというのに、誇りを持つとともに、責任を感じなければなりません。よい国民でなければなりません。

五 天皇陛下

こんどの戦争で、天皇陛下は、たいへんご苦労をなさいました。なぜならば、古い憲法では、天皇をお助けして国の仕事をした人々は、国民ぜんたいがえらんだものではなかったのです。国民の考えとはなれて、とうとう戦争になったからです。そこで、これからさき国を治めてゆくについて、二度とこのようなことのないように、新しい憲法をこしらえるとき、たいへん苦心をいたしました、ですから、天皇は、憲法で定められたお仕事だけをされた。政治には関係されないことになりました。

心を届ける絵手紙展

「へたでいい へたがいい」

とき：2016年11月1日（火） 13時～
2日（水） 10時～17時
3日（木） 10時～17時
4日（金） 10時～16時半

ところ：NHK 和歌山放送局「ギャラリーわかまる」
入場無料 体験もできます

主催：新婦人和歌山市支部 絵手紙グループ
426-2647